



# 情報

特定非営利活動法人 **炭鉄の記憶推進事業団**  
 理事長 吉岡宏高  
 〒068-0021 岩見沢市1条西4丁目3  
 そらち炭鉄の記憶マネジメントセンター  
 TEL 0126-24-9901 FAX 0126-24-9902  
<http://www.soratan.com/>

No. 017  
 2018/10/15



## 炭鉄港

高まる《炭鉄港》の熱度  
 《炭鉄港》は、近代北海道を築く基となった三都（空知・室蘭・小樽）を、石炭・鉄鋼鉄道・港湾というテーマで結ぶことにより、人と知識の新たな動きを作り出そうとする取り組みです。当NPOが主導して2010年から毎年続けてきた地道な活動により、いよいよ熱度が高まってきています。

### 炭鉄港推進協議会が発足

日本遺産登録に向けた「炭鉄港推進協議会」が発足し、7月13日に岩見沢市で第一回目の会議が開催されました。

各市町・観光協会・商工会議所・民間企業・関係機関など計53団体が一堂に会した画期的な会議となり、会長に菊島赤平市市長、副会長に鈴木夕張市長が選出されました。

### ツーリズムエキスポで広報展開

9月20～24日には、東京ビックサイトで開催された「ツーリズム Expo ジャパン 2018」で、産業観光コーナーへブースを設置し、炭鉄港と石炭博物館のPRを行いました。この催事は、国内外から約1,300団体企業が出展し、旅行業界・プレス・一般あわせて約20万人が来訪する、わが国最大の旅行・観光の展示会です。

（株）島津興業と夕張市とともに出展したことで、産業観光ブースの最も良い位置を確保することができました。冒頭2日間の業界向け公開日には、（株）島津興業が仙巖園の商談に来た旅行会社に対し《炭鉄港》と薩摩との関わりを積極的にアピールして頂いたことで、多くの商談を行うことができました。また、

後半2日間の一般公開日には、炭鉄会社技術部係員に扮した吉岡理事長と選炭婦姿の北口事務局長のアピールが奏功し、元横綱・朝青龍の飛び入りPRもあって、大いに注目を浴びました。展示装飾がないための苦肉の策でしたが、我々らしい展示となりました。



当NPOにとって初めての大会でのアピールとなりましたが、在京会員6名の献身的なお手伝いや、仲嶋憲一・室蘭観光協会事務局長や金沢信也・（株）NEXT YUBARI HALKS 専務の参画も大きな力となって、炭鉄港や石炭博物館の全国デビューを果たすことができました。

### 11月29日には札幌で振興局セミナー

11月29日(木)には、札幌市で、空知総合振興局主催による炭鉄港セミナーが開催予定です。

- 日時：11月29日(木) 14:30～17:00
- 会場：「かでるホール」（札幌市中央区北2条西7丁目）
- 主催：北海道空知総合振興局
- 内容：講演「炭鉄港とは」（吉岡理事長）、講演「産炭地域の可能性」（鈴木貴之氏）、パネルディスカッション（コーディネーター＝吉岡理事長、パネリスト＝鈴木氏、小樽商大高野氏、室蘭100年村田氏）

## 食の TANTanまつり

### 11月4日(日)は赤平に集合!

今年最後の大型催事として、11月4日(日)に赤平市炭鉄遺産ガイダンス施設と周辺で、「食のTANTanまつり」が開催されます。

赤平ががん鍋をはじめ、芦別ガタン、

歌志内ナンコ、美唄焼き鳥、三笠石炭ザンギ、夕張カレー蕎麦など、炭鉄の食が一堂に会します。坑口めぐりフットパス、坑口浴場特別公開、赤平4炭鉄（住友赤平・北炭赤間・雄別茂尻・豊里）炭鉄の思い出トークショーも同時開催。

なかでも注目は、10:30～12:00にガイダンス施設で開催されるリレートーク「ドイツー九州ー炭鉄港」高橋美唄市長・菊島赤平市市長や佐々木空知総合振興局長ら旧産炭地域首長が炭鉄遺産の未来を語ります。

## 今年も「ぶらぶら」開催中

「ぶらぶらまち歩き 2018」全9コースのうち、4コースは10月後半に開催です。予約不要・参加無料の気軽なまち歩きに、是非、ご参加ください。

回	日時	地域	テーマ
6	10/20 [土]	美唄	我路の原風景 vol.2
7	10/21 [日]	歌志内	歌志内発祥の地 本町地区をぶらぶら
8	10/27 [土]	万字	北海道150年と万字・万字炭山ー鉄道・石炭そして限界集落へ
9	10/28 [日]	岩見沢	駅周辺で見られる炭鉄港と、まちなか歴史再発見!

開催時間 13:00～15:00、参加無料・事前登録不要



石炭博物館の入館者数は、9月末日で27,082人となり、当初の年間想定人数である14,000人を大きく上回る好調ぶりです。

このうち、個人客22,608人、団体客3,236人と圧倒的に個人客が多く、開業効果が伺えます。また、夕張市民が1,238人と全体の約5%を占めているのも大きな特徴です。

初年度であるため、運営体制の確立や安全操業に手がかかっており、質的な充実はまだこれからです。また、開業効果がない来年度に向けては、より一層の広報営業活動が不可欠と考えています。

10月からは閉館時間が1時間繰り上がって16:00(最終入場15:30)となっています。今シーズンの一般営業は、11月4日(日)で終わり、来シーズンはゴールデンウィーク直前から再オープンします。

## 赤平立坑ガイド施設 7月14日に開館

### カフェ物販部門をNPOが運営受託

住友赤平立坑の隣りに、赤平市炭鉱遺産ガイド施設が7月14日に開館しました。

約500㎡の施設内には、炭鉱機材や図面など約200点が展示され、無料で公開しています。また、当NPO元理事である三上秀雄さんらによる立坑内などガイドツアー(有料)が、10:00と13:00の一日2回開催されています。

施設のカフェ物販コーナーの運営を、当NPOが赤平市から受託しました。これによって、NPOの拠点は、マネジメントセンターに加えて夕張石炭博物館・赤平ガイド施設の3箇所となり、空知全域を「面」としてカバーする体制が確立しました。

開館時間：09:30～17:00

定休日：月・火曜日(祝日は開館し翌日休館)



## 人事異動

2018/02/25▷理事辞任/三上秀雄(炭鉱遺産ガイド施設職員就任予定のため)

2018/03/31▷雇用契約期間終了/秋元さなえ(事務局員)

2018/04/01▷夕張市石炭博物館館長を兼職/吉岡宏高(理事長)▷夕張石炭博物館特別学芸員を兼職/熊谷隆文▷夕張市石炭博物館企画部長を兼職/酒井裕司▷夕張市石炭博物館管理部長/原田唯史(夕張市石炭博物館開設準備室長)▷雇用更新/大倉加奈(事務局員、2019/03/31まで)▷新採用/横山真由美(事務局員、2019/03/31まで)

2018/04/15▷新採用/長澤佳子(夕張市石炭博物館管理部主任)、西田信夫(夕張市石炭博物館管理部)

2018/04/28▷石炭博物館アドバイザー/石森秀三(北海道博物館館長)・角幸博(博物館網走監獄館長)・松尾千歳(株島津興業尚古集成館館長)・太田清澄(札幌学院大学名誉教授)・三上秀雄(赤平コミュニティーガイドクラブTANtan代表)・小川原格(小樽観光協会相談役)・仲嶋憲一(室蘭観光協会事務局長)

2018/05/01▷新採用/山田信一(夕張市石炭博物館管理部、2018/11/05まで)

2018/06/01▷赤平ガイド施設担当を兼職/大橋二郎(副理事長)▷赤平駐在/大倉加奈(事務局員)▷新採用/村田幸夫(事務局員赤平駐在、2019/03/31まで)

## 2018年事務局スタッフ

▼下記のメンバーで運営しています。

### 役員

(兼職のみ掲載)



理事長/石博館長  
吉岡宏高



副理事長/赤平担当  
大橋二郎



常務理事/石博企画部長  
酒井裕司



監事/石博特別学芸員  
熊谷隆文

### 事務局

+  
パートナー



事務局長  
北口博美



事務局員/岩見沢  
横山真由美



事務局員/赤平  
大倉加奈



事務局員/赤平  
村田幸夫



管理部長/石博  
原田唯史



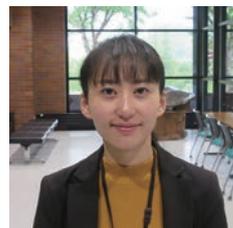
管理部主任/石博  
長澤佳子



管理部/石博  
西田信夫



管理部/石博  
山田信一



夕張市地域おこし協力隊/石博  
澤出有里